



5 MY青竹踏みづくり

今回の交流会では、連携プログラムとして、前回のひとつなぎフェス(2025年3月に実施)で市民が企画した「MY青竹踏みづくり」を実施しました。参加者は自分たちで青竹を加工し、完成した青竹を使ってその場で体験。地域のフィットネス関係者にも協力いただき、青竹踏みを取り入れた簡単な体操も行いました。



6 道路使ったアクティビティ

道路空間を活用し、卓球やわなげ、モルックを設置しました。ワークショップの合間や移動の途中に立ち寄った人が、短い時間でも気軽に体験できる場となりました。

千里の新聞の交流会

「千里のの交流会」は、こぼれび通りやUR東町団地敷地の一部、千里東町公園を舞台に、市民・企業・行政が交流できる場として開催しました。今回の交流会では、こぼれび通りの整備やUR東町団地の一部建替え完了を契機として、公園エリアや住宅エリアにおける新たな交流の場づくりを進めました。これまで地域に関わってきた方も、初めて参加された方も、互いの活動や思いを共有し、これからの千里中央地区の空間活用や協働の可能性について意見を交わしました。卓球やキッチンカーなど、来場者が自由に参加できるプログラムも行い、立ち寄った人々が思い思いに時間を過ごしました。

開催日：2025.7.27 sun 9:00-13:00 (コアタイム 9:00~11:00)
会場：こぼれび通り、UR東町団地敷地の一部、千里東町公園
参加者：千里地区周辺住民、活動団体や企業のみなさん
参加者：約30名(市民、関係事業者)



これまでの取り組みについて

これから千里

2018年度に「千里中央地区活性化基本計画」を策定し、市民・企業・行政が連携するエリアマネジメントを推進してきました。2022年度からは将来像を描くワークショップを開始し、2023年度には企業と地域の連携アイデアをまとめた「千里アクティビティガイドこれ、せん？」を制作。2024年度以降は交流会や実証的なワークショップ、フェスを通じて、ガイドの実現に向けた活動を展開しています。



過去の取り組みや千里アクティビティガイド「これ、せん？」
こちらからご確認ください



当日は9:00からはじまり、お昼前までの開催でした。地域に長く関わってきた方も、今回初めて参加された方も、ともに活動や思いを共有し、これからの空間の活用や協働の可能性について意見を交わす場となりました。

11:00以降は、自由に誰でも参加できる時間です。緑道空間には卓球台やモルックなどを設置し、公共空間を実際に使いながら新たな活用の可能性を探る時間ともなりました。

当日のプログラム

- | | |
|---|--|
| 9:00～11:00 (プログラム実施時間) | 11:00～13:00 (自由参加時間) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・こぼれび通りとUR東町団地の紹介 ・昨年度の取り組み紹介 ・参加者全員による意見交換
(こぼれび通り活用の企画検討) ・意見共有とまとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・卓球・モルック・ポッチャ体験 ・青竹踏み体験 ・キッチンカー / スイーツカー ・昨年度の取り組み紹介パネル展示 |

1 開会 あいさつ

開会にあたり、市長をはじめ、3名の方からあいさつをいただき、こぼれび通りの整備の完成や今後の活用についてお話しいただきました。まちの新たな魅力や交流の広がり期待を寄せる言葉が述べられ、これからの地域づくりに向けた方向性についてお話しいただきました。



長内市長
(豊中市)



野田部長
(豊中市都市基盤部)



田邊さん
(独立行政法人都市再生機構)

2 これまでの活動について 活動紹介！！

大きなパネルシートを見ながら昨年度の活動をみんなで振り返り、企画に関わった方から実感を込めた説明をいただきました。さらに、この日近隣で清掃活動を行っていたガールスカウトの皆さんにも参加いただき、日頃の活動について報告していただきました。



ガールスカウトの皆さんからの活動報告

3 ワークショップ こぼれび通りをつかった企画を検討



ワークショップは、こぼれび通りを活用した企画について検討しました。他地域の事例も参考にしながら、道路区間を使った取り組みについて意見交換を行いました。すでに行われている活動も踏まえて、うまく連携させようという話になりました。



3つのグループに分かれて意見交換を行いました。初めてこの場に参加する方、昨年から継続して参加しているメンバー、そして今回の交流会から参加したメンバーが交わる交流の場にもなりました。

- 1班の意見
 - ・ゴミ拾いと自然観察を組み合わせた活動
 - ・緑日のような空間づくり
 - ・秋の「こぼれび祭り」開催
 - ・千里中央イベントとの同時開催
 - ・キャンドルロードに合わせた空間活用
 - ・活動後にくつろげるカフェスペース
- 2班の意見
 - ・竹踏み世界一への挑戦
 - ・竹製の椅子で日陰づくり
 - ・大阪ガスとの連携
 - ・防災協定や避難所連携
 - ・防災イベントでの顔の見える関係づくり
 - ・イオンと学区・自治会の連携
- 3班の意見
 - ・自転車道の整備
 - ・竹林ウォーキング大学
 - ・「ぶらりこぼれび通り」散策イベント
 - ・デザイン性のあるトイレやベンチの設置
 - ・竹馬・たけぼっくり競争
 - ・夜間の安全照明整備
 - ・水路や噴水などの暑さ対策
 - ・竹小屋内の自販機設置
 - ・神社ビールプロジェクト
 - ・近隣の小学校との連携
 - ・気軽に参加できる仕組み

4 キッチンカー かき氷やタコ焼きを販売、スイーツカーも出店

今回も前回の交流会と同様に、企業の協力のもとキッチンカーを2台設置しました。1台はたこ焼きやかき氷を販売するキッチンカーで、特に暑い日だったこともあり、冷たいかき氷は来場者にとって嬉しいひとときとなりました。もう1台はスイーツカーで、百貨店で販売されている商品の中でも、ここでしか買えない特別なメニューも並びました。



つめたーいかき氷



その横には昨年度の取り組みを紹介するパネルを設置し、立ち寄った方々に活動の経緯や内容をご覧いただきました。

